

知って、学んで、いっしょに考えよう！
いまも残る ハンセン病問題！

2号案内

第6回

架け橋 交流・講演会

◆記念講演◆ ～回復者から学ぶ～

最後は自由に生きたい！101歳 新たな門出



北野貞晴さん

1923年12月21日、大阪府堺市で生まれた。現在102歳。尋常小学校を卒業して間もなく、ハンセン病の症状で顔が腫れ、眉毛が抜けた。病院をいろいろ回ったが、どこも診断を下さなかった。大阪市内の薬屋で父親がハンセン病に効く丸薬を買ってくれ服用していた。その薬屋の紹介で群馬県の草津温泉がこの病気に効くとのことで紹介され、湯之澤に湯治に行った。1941年に湯之澤部落が解散になったあと、ハンセン病に効くという薬を求めてハンセン病療養所を転々とした。1944年に国立療養所栗生楽泉園に入所。81年間の時を経て101歳で社会復帰を決意。2025年11月7日に退所し、現在大阪市内で暮らしている。

と き：2026年12月6日（日）

受付12：30 開会13：00～16：00

ばしょ：三郷町文化センター（アクセスの詳細は裏面に記載）



◆作品展◆

ハンセン病療養所入所者・退所者の作品（絵画、陶芸、書道など）
地域のみなさんからの出展作品 ほか

◆企画展◆ なぜ命は選別されたのか！？

優生保護法とハンセン病問題

作品・企画展示期間

2026年12月3日（木）～12月5日（土） 9：00～17：00

2026年12月6日（日） 9：00～13：00

北野貞晴さんのハーモニカ演奏、
三郷町立三郷中学校吹奏楽部
との共演もあり♪

◆分科会◆

ハンセン病回復者や、そのご家族から
お話をうかがい、理解を深めます
—裏面に詳細あり—

主催：架け橋 長島・奈良を結ぶ会 / 社会福祉法人ちいろば会

奈良県北葛城郡上牧町桜ヶ丘2-6-1
090-8575-1239(中森)

奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14
0745-72-1923(奥田)

後援：奈良県、奈良県議会、奈良県教育委員会、奈良県市町村人権・同和問題啓発活動推進本部連絡協議会、奈良県人権擁護委員連合会、奈良県社会福祉協議会、奈良県人権教育推進協議会、差別をなくす奈良県宗教者連帯会議、部落解放同盟奈良県連合会、NPO法人なら人権情報センター、（一財）奈良人権部落解放研究所、奈良県人権教育研究会、奈良県高等学校人権教育研究会、三郷町、三郷町教育委員会、三郷町議会、（社福）三郷町社会福祉協議会、三郷町人権教育推進協議会、三郷町人権保育研究会、部落解放同盟奈良県連合会下之庄支部、国立療養所長島愛生園入所者自治会、国立療養所邑久光明園入所者自治会、国立療養所大島青松園入所者自治会、国立療養所菊池恵楓園入所者自治会、ピープルファースト奈良、NPO法人奈良県精神障害者家族会連合会（まほろば会）、奈良県「障害者」運動ネットワーク、奈良平和フォーラム、奈良県退職教職員協議会、奈良新聞社、産経新聞社、読売新聞奈良支局、朝日新聞奈良支局、毎日新聞奈良支局、奈良テレビ放送

第6回 架け橋 交流・講演会

『ハンセン病問題を終わったことにしないために』

～今こそ学びたいハンセン病に対する偏見・差別の歴史 当事者たちのたたかいの軌跡～

開催趣旨

「架け橋 長島・奈良を結ぶ会」は、「ハンセン病回復者の方と友だちになろう」と、1979年から47年間活動を続けています。2020年からは多くの市民や小、中、高校生、学生のみなさんと回復者の方々との出会いの場を設けることを目的に「架け橋 交流・講演会」を5回開催してきました。第6回目にあたる2026年は、障害者差別の解消に取り組む社会福祉法人ちいろば会と共催で「架け橋 交流・講演会」を開催することになりました。

わが国では、ハンセン病療養所で、優生保護法施行前の1915年から優生手術や嬰兒殺が行われていました。ハンセン病当事者と同様に障害者に対しても、わが国では隔離政策や強制不妊手術、強制堕胎手術など、人間としての根幹にかかわる権利を長年に渡って侵害し続けた歴史があります。

「らい予防法」「優生保護法」とともに1996年に廃止されたものの、未だ、社会にはハンセン病回復者や障害者、その家族までに及ぶ差別や偏見が存在しています。わたしたちが他者の人権を侵害したり、偏見によって傷つけたりすることを無くすためには、知らないことを放置せず正しい知識や歴史を知ること、そして、差別に苦しむ当事者の方々と出会い、交流を深めることが何より重要です。

だれもが自尊心をもって、輝いて生きることのできる社会を創造するために、今年も本事業を開催します。多くのみなさんのご賛同、ご参加をお待ちしています。

- ・ **講演会** 13:00～ 開会行事
13:10～ 記念講演(北野貞晴さん)
- ・ **分科会** 14:30～15:50

分科会名	会場	定員	お話を下さるみなさん
第1	音楽室	70	家族訴訟原告番号190番さん お父さんがハンセン病に罹ったということで学校は独りぼっち、家族への嫌がらせを毎日体験した。家族訴訟をきっかけに、今では、「ハンセン病問題を通して人権を考える社会を!」「『家族がハンセン病に罹っていたのよ』と普通に話せる日が来るまで!」という強い思いで、全国を走り回っている。
第2	研修室1	30	山城清重さん 1942年8月26日、島根県で生まれた。現在83歳。小学校4年生の時にハンセン病を発症し、国立療養所長島愛生園に入所。家族は面会に来てくれなかったため、家族を恨んで生きてきたという。1962年5月5日、19歳で社会復帰、京都や大阪のパチンコ店でハンセン病歴を隠して43年間働いた。「らい予防法」違憲国家賠償請求訴訟を機に退所者の会で活動をはじめた。2019年7月、ふるさと島根県での語り部を引き受けたのをきっかけに兄と57年ぶりに再会。きょうだいや親族とのつきあひも少しずつ回復してきた。
第3	研修室2	30	Y.Kさん 1943年6月18日、与那国島(沖縄県)で生まれた。現在83歳。高校受験を控えた時期に親戚の勧めにより国立療養所沖縄愛楽園に入所。自覚症状はなく、おそらく高校受験に必要な身体検査により指摘されたのではないかという。高校受験に備えて国立療養所大島青松園(香川県)に移ったのち、10代で退所した。社会復帰後は大阪府内にあるプラスチック関係の会社に就職し、3年ほど現場で働き、営業などの仕事をを経て独立した。現在大阪市内で暮らしている。

参加申込・方法

- ・ 名前
- ・ 電話番号
- ・ 参加希望
記念講演、分科会
(第1、第2、第3)
- ・ その他(問い合わせ等)

上記の項目を以下のいずれかの方法でお知らせ下さい。

① Fax 0745-72-1924

(ちいろば会)

② 電話 090-8575-1239

(架け橋の会-中森)

または 0745-72-1923

(ちいろば会-奥田)

③ E-mail

kouryu.kouenkai@gmail.com

④ Googleフォーム

読み込んでください。



三郷町文化センター

生駒郡三郷町勢野西1丁目2-2 0745-72-4461

- ①車はセンター専用駐車場があります(スペースは限られていますのでご了承ください)。
- ②近鉄生駒線信貴山下駅から徒歩3分(信貴山下駅を出て左へ、駅前広場の中を下る。踏切を渡り、三郷町役場前の道を真っ直ぐ茶色の建物に沿ってすすむと左手に入り口が見えてきます)